

平成30事業年度

決算報告書

自：平成30年4月1日

至：平成31年3月31日

国立大学法人島根大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人 島根大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,914	11,035	121	(注1)
施設整備費補助金	64	70	6	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	97	338	241	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	35	35	—	
自己収入	22,339	23,632	1,293	
授業料、入学金及び検定料収入	3,464	3,359	△ 104	(注4)
附属病院収入	18,222	19,436	1,214	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	653	837	184	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,517	1,735	218	(注7)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	49	49	(注8)
計	34,966	36,894	1,928	
支出				
業務費	31,802	33,015	1,213	
教育研究経費	14,296	14,595	299	(注9)
診療経費	17,506	18,420	914	(注10)
施設整備費	99	105	6	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	97	338	241	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,517	1,433	△ 84	(注13)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1,451	1,456	5	(注14)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	34,966	36,347	1,381	
収入-支出	—	547	547	

※記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示しているため、合計があわない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、年俸制導入促進費の追加交付及び補正予算の措置により、予算額に比して決算額が121百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していなかった基幹・環境整備(ブロック塀対策)に係る補助金の交付があったため、予算額に比して決算額が6百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった補助金等の交付があったため、予算額に比して決算額が241百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、予算段階との人数の差異等により、予算額に比して決算額が104百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が1,214百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、保育料収入の増加及び科学研究費補助金間接経費の獲得等により、予算額に比して決算額が184百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が218百万円多額となっております。
- (注8) 目的積立金取崩については、地方大学・地域産業創生交付金事業の実施に伴い目的積立金を予算化したため、予算額に比して決算額が49百万円多額となっております。
- (注9) 教育研究経費については、人件費及び退職手当の増加等により、予算額に比して決算額が299百万円多額となっております。
- (注10) 診療経費については、手術件数の増加等に伴う医薬品、診療用消耗品等の費用の増加及び人件費の増加等により、予算額に比して決算額が914百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費については、(注2)に記した理由により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっております。
- (注12) 補助金等については、(注3)に記した理由により、予算額に比して決算額が241百万円多額となっております。
- (注13) 産学連携等研究費及び寄附金事業費等については、次年度への繰越等により、予算額に比して決算額が84百万円少額となっております。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入金利率の変更等により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。